平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １１ ※記入不要	提案機関名	農業振興課

要望問題　ナモグリバエの本県における発生生態の解明と防除対策の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

【背景】

ナモグリバエは被害はそれほど問題にならない害虫であったが、近年アブラナ科野菜を中心に寄生が増加し深刻な問題になりつつある。三浦半島では冬作のダイコンで増殖し、キャベツに被害を及ぼしている。コマツナでは収穫直前の被覆をはがした時点で飛来し、吸汁痕をつける。これら被害の発生するようになったメカニズムを明らかにし、防除対策を確立することが急務となっている。

【内容】

1　ナモグリバエの発生生態の解明
2　近年被害が増加するようになったメカニズムの解明
3　成虫・幼虫に有効な薬剤の検索

【栽培面積】

県内のアブラナ科野菜栽培農家

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

病害虫の診断．同定及び防除対策の確立

対応の内容等

要望の１、２については平成 16 年秋より所内秋作ダイコン、キャベツで発生消長を確認予定です。

ハモグリバエ関係で先進の研究を行っている、京都府、宮崎県と情報交換を行い、全国的に解明されていない夏期での行動を調べると共に、県内関係者に情報提供を行っていきます。

要望３については平成 15 年度に一部実施中です。今後補完試験を行っていきます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	